

# 農繁期

## レポート

令和4年 6月号

# 栄ファーム

オーナー 栄運輸工業株式会社

水田面積 18.4アール

保証量 玄米 828kg

形態品種 特別栽培コシヒカリ



## 生産者 三上 惇二

6月は例年より気温が高く天気も良い日が多いので稲は順調に生長しています。ただ好天ばかりが必ずしも良いわけではなく空からの雨の水も稲をより生長させるので梅雨時期は適度に降ってほしいです。

6月10日前後で2回目の除草剤を散布しました。ちょうど田んぼの雑草に効率よく吸収し良く効きました。暑い日が多いですが草刈りも順調に進んでいます。

### 6月の作業内容

#### 1. 除草剤まき (田んぼの中)

田植え1週間後位に苗が根付き成長を始めるタイミングに1回目の除草剤を散布します。雑草は稲にとって大敵です。放置すると水分や養分を横取りしたり、日光を遮り病害虫の発生源となります。田んぼ内の発生を予防します。



#### 2. 草刈り (畦道)

畦道の草刈りは田植え後から何度も行います。強力な除草剤を使えば楽ですが、雑草の根まで枯らしてしまうことで畦が弱くなり崩れる可能性もあるので地面に出ている部分を機械で刈り取ります。



#### 3. 水の管理

水の管理が自動化されていない地域では農家さんが全ての田んぼの水深を基本毎日確認します。水は栄養分を土から吸い上げるのに必要なだけでなく、寒暖の差が激しい山間部では稲が冷えすぎないように保温しています。



#### ★蛍の季節★

鳥取県日南町の一部地域はヒメボタルとゲンジボタルが同時にかつ大規模に見られる全国でも珍しいホテル鑑賞地です。毎年県内外から鑑賞に来られます。

※以下写真は「よしみちにちなん」より引用

